

UILANG.DAT ファイルの使用に関して

UIC の Meta シリーズソフトウェアでは、ソフトウェアがインストールされている同じディレクトリ内に UILANG.DAT ファイルが存在する場合には、その UILANG.DAT ファイルに記載されているデータをもとに言語変換を行います。この機能を用いることで英語表記されていたメニュー名、ツールバータイトル名、ボタンテキスト名などで日本語表記が可能となります。

具体的には、UILANG.DAT に次のような記述が含まれている場合には、

Live
ライブ画像表示
Configure Acquisition
データ収集設定
Auto Expose
自動露光
Close Dialogs
ダイアログ閉じる
&3D Reconstruction...
立体再構築構築

Meta ソフトウェアを立ち上げると従来の英語メニューでの

Live => ライブ画像表示

Configure Acquisition => データ収集設定

Auto Exposure => 自動露光

Close Dialogs => ダイアログ閉じる

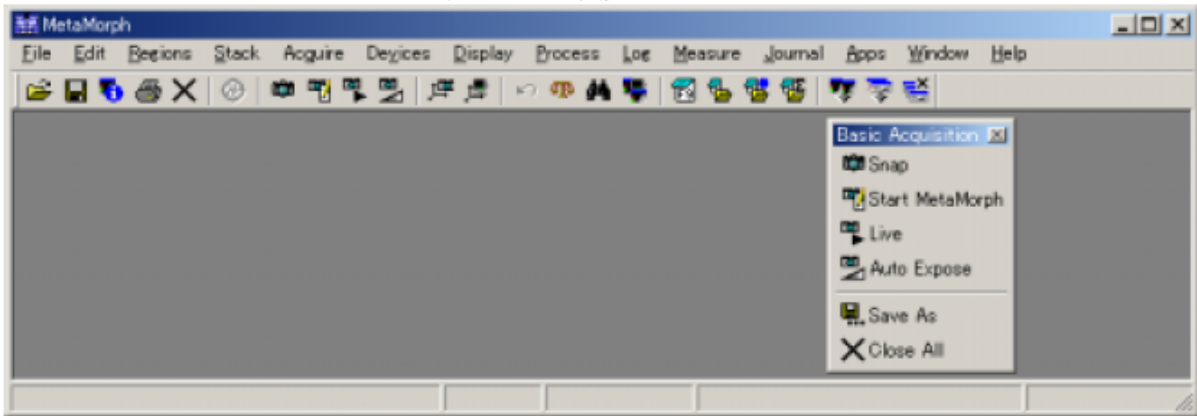
&3D Reconstruction... => 立体再構築

と自動的に言語変換されます。

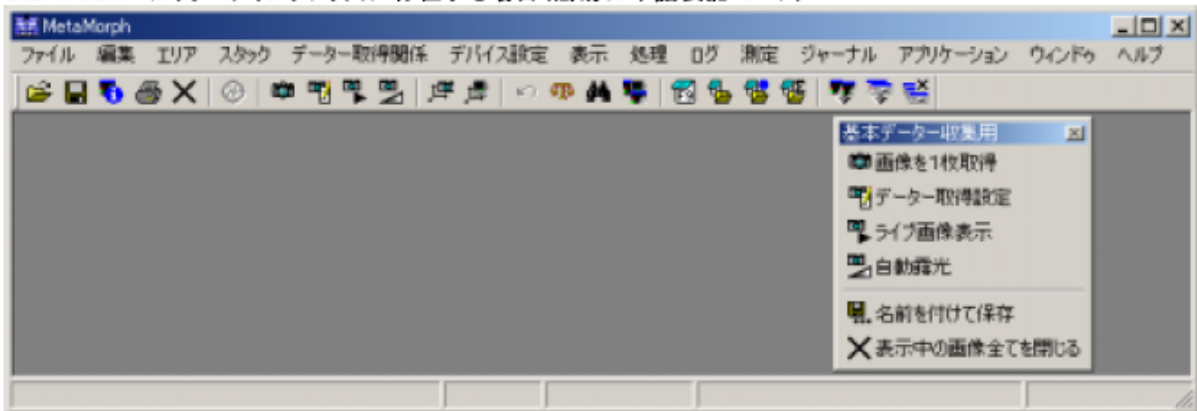
またこの UILANG.DAT ファイルは、Windows 標準添付のメモ帳を用いて記述内容の変更が簡単に行えますのでお好みに応じて改変やカスタマイズが可能となっています。

なお、言語変換モード（簡易日本語表記モード）から通常の英語モードに戻したい場合は、Meta ソフトウェアがインストールされているディレクトリ内に存在する UILANG.DAT ファイルのファイル名を MYUILANG.DAT と変更し、再度 Meta ソフトウェアを起動するだけでモードが元の英語表記に書き換わります。

UILANG.DAT が同一ディレクトリ内にない場合 (通常の英語モード)

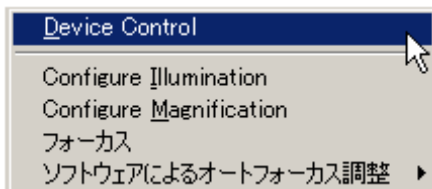


UILANG.DAT が同一ディレクトリ内に存在する場合 (簡易日本語表記モード)



UILANG.DAT に英語表記から日本語表記に変換したい項目を追加したい場合

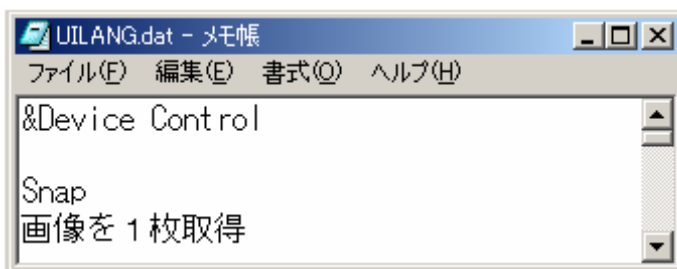
- 1) 日本語モードで立ち上げ、日本語に変換されていない項目名をピックアップする。



- 2) 変換されていない項目で、日本語変換したいものをピックアップする。

上の例では Device Control、Configure Illumination、Configure Magnification の記述が日本語に変換されていないのでこの内容を覚えておく。

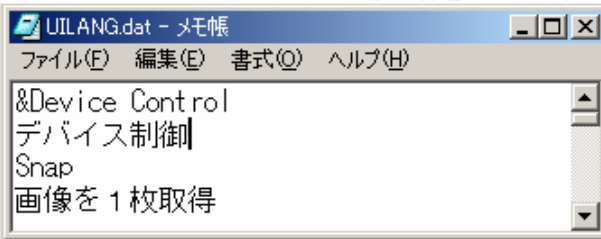
- 3) Meta ソフトウェアを終了する。
- 4) UILANG.DAT ファイルをメモ帳で開く。



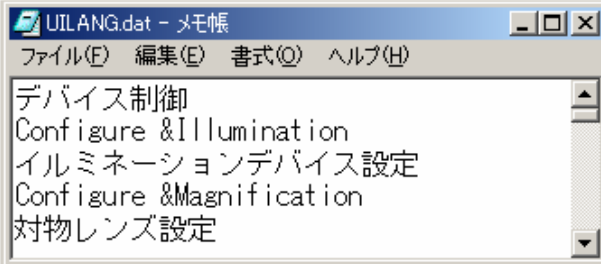
- 5) UILANG.DAT ファイルを開いたら一番最初の行に&Device Control と入力し、改行する。

注意: 英語表記時の文字に、アンダーバーが付いている場合は、その文字の前に必ず”&”マークを入れ下さい

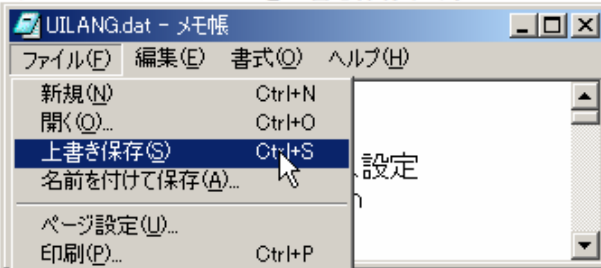
6) Device Control に相当する日本語名称を記述する。



7) 続けて他の英語表記から日本語表記に変換したい項目の記述を行う。

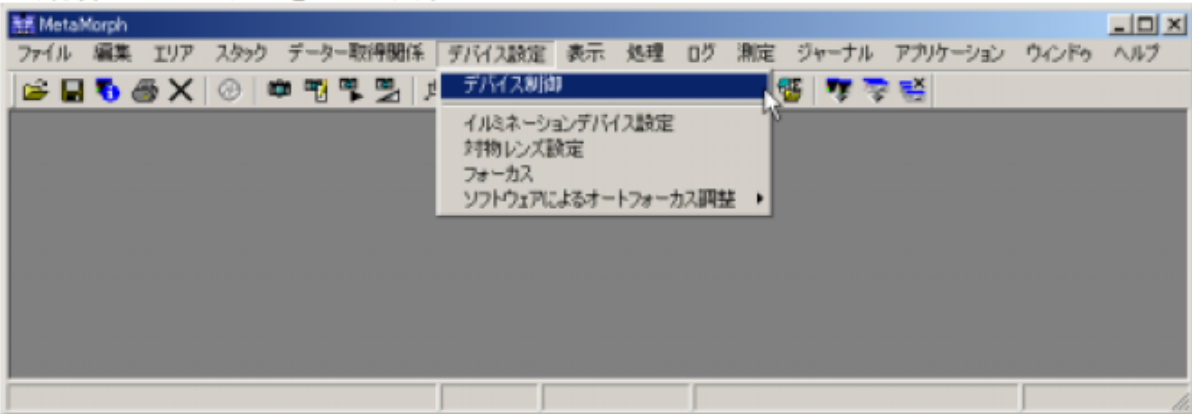


8) UILANG.DAT ファイルを上書き保存する。



9) メモ帳を閉じる。

10) 再度 Meta ソフトウェアを立ち上げる。



先ほどの英語表示の部分が日本語表示に書き換わる。